


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立青森第一養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	関数 $y = ax^2$		
	単元(題材)の目標	関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴を理解する。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	3 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	関数 $y = ax^2$ の意味は概ね理解し、式に表すことができるが、四肢にまひがあり、細かい作業は難しいため、正確にグラフをかくことが難しい。 問題から内容をイメージする力が弱いため、イメージを具体化する必要がある。		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	関数グラフ		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	理由：ノートにグラフを書くことが難しい。 ねらい：自分でグラフを作成することができる。		
活用の状況と支援	<p>$y = ax^2$ のグラフの作成場面で関数グラフを活用した。点をとる作業は細かい操作が必要なので、自分で操作できるようにペンシルを使用した。</p> <p>交点を求める学習で関数グラフを活用し、グラフを拡大して見ることで、問題に対するイメージをしやすくした。</p>			